

平成10年9月吉日

会員各位

立秋の候、皆様には益々ご清栄のことと存じます。

さて、かねてお知らせしていました「東北大学ヨット部創部60周年記念式典および祝賀クルーズパーティー」を下記のとおり行うこととなりました。創部の時には東北帝国大学本多光太郎総長にご出席を頂きましたが、今回も記念式典に東北大学阿部博之総長にご出席頂ける予定です。多数のご参加をお待ちしております。

白翠会 代表幹事 土居 昭昌
代表幹事 棚橋 善克
代表幹事 後藤 正孝

記

記念式典

日 時：平成10年10月4日（日）11：00～12：00
場 所：マリゲート塩釜 3階マリンホール
〒985-0016 宮城県塩釜市港町1-4-1
TEL 022-361-1500

祝賀クルーズパーティー

日 時：平成10年10月4日（日）12：30～16：00
乗船場：マリゲート塩釜前

追 前日（10月3日）夜は各年代でミーティングが開かれると思いますが、三井アーバンホテル13階レンガハウスをご利用になると多くの年代が集まれると思います。仙台で宿泊を予定されている方でお心当たりの無い方は、三井アーバンホテルまたはグリーンラインをご利用になると便利です。

以上

東北大学ヨット部60周年記念式典

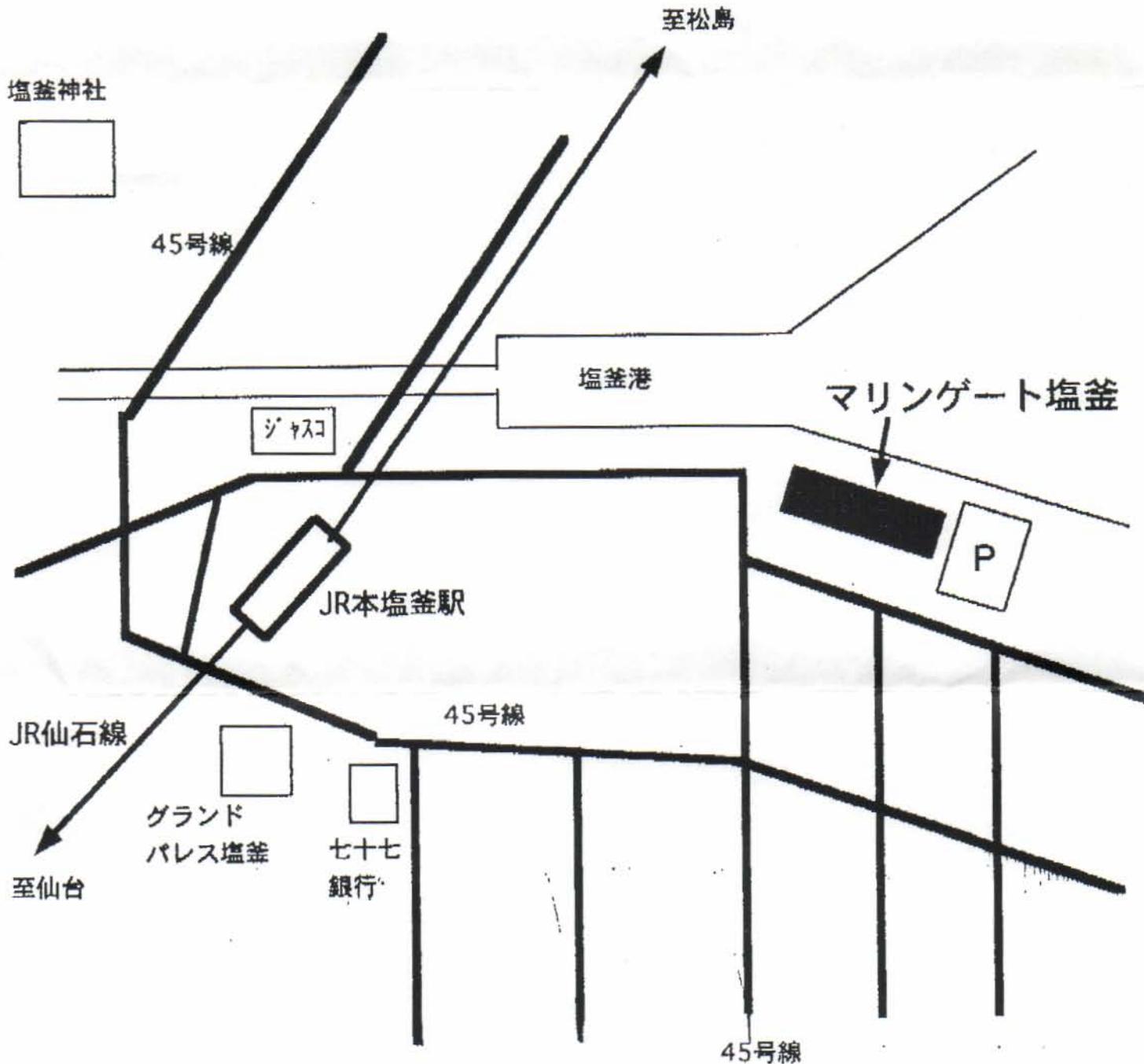
— 会場案内図 —

日 時：平成10年10月4日（日） 11:00~12:00

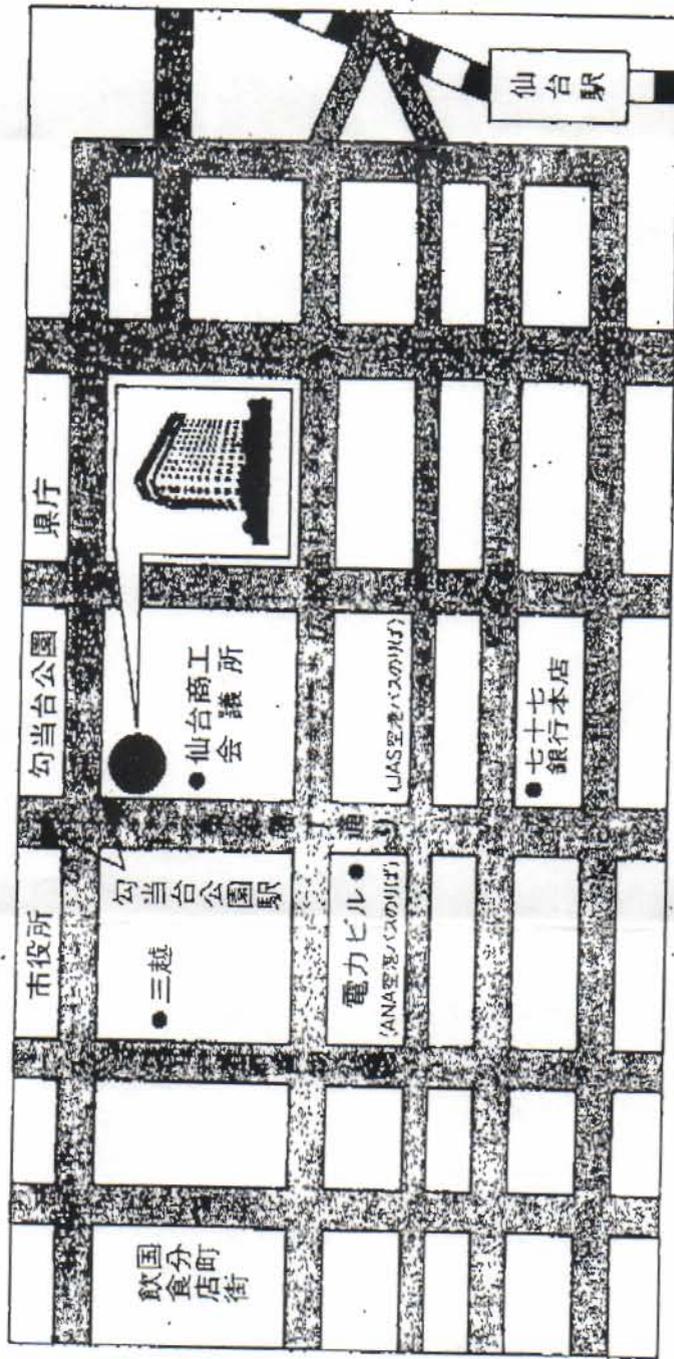
場 所：マリンゲート塩釜 3Fマリンホール

〒985-0016 宮城県塩釜市港町1-4-1

TEL 022-361-1500



* ホテルご案内図 *



地下鉄：勾当台公園駅下車

 三井アバンホテル 仙台

〒980 仙台市青葉区本町2-18-11 ☎022-265-3131(代)

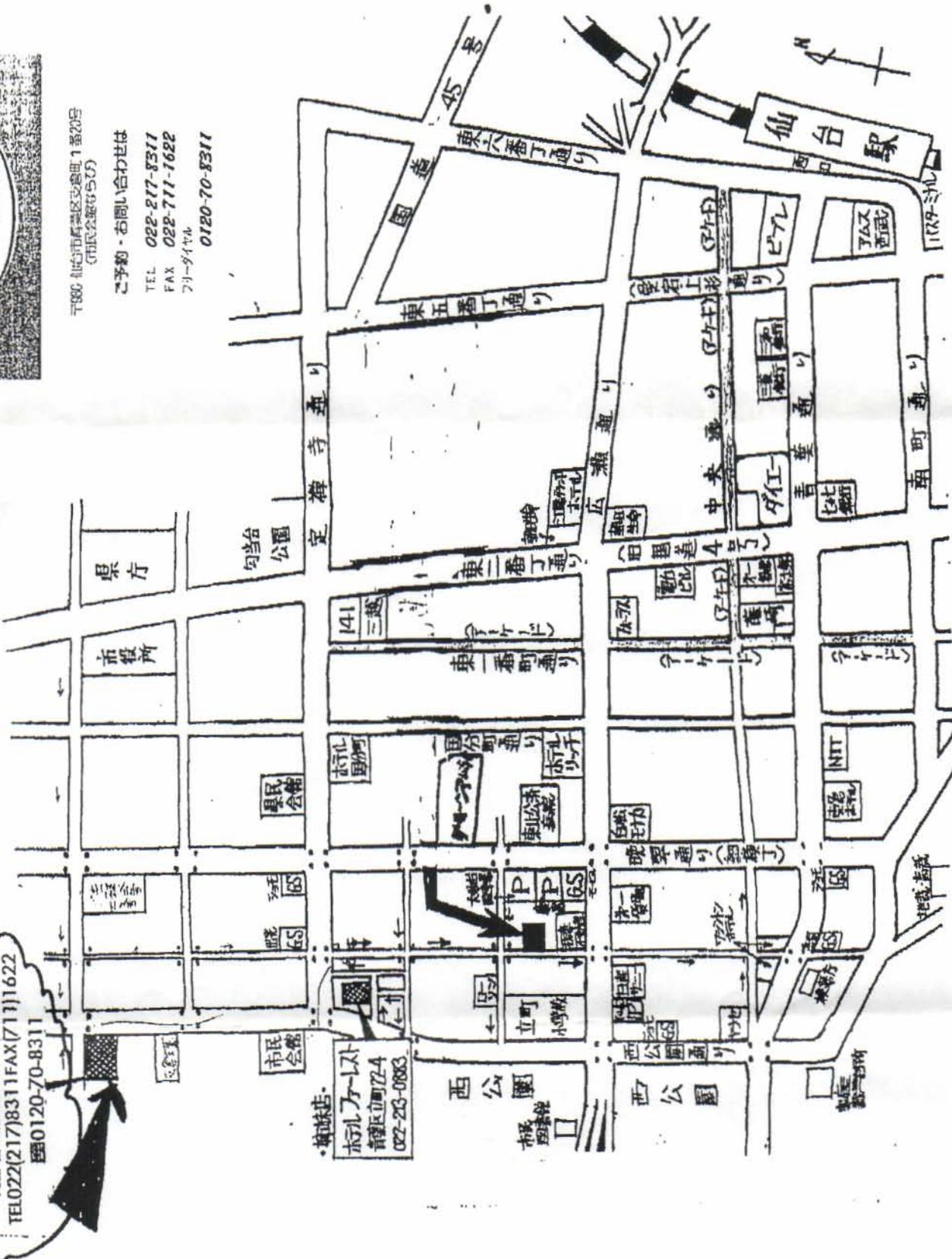
「住友建設」と言っても予約すると安くなります。

ホテルグリーンライン
 〒190 東京都台東区文京町1-20
 TEL022(217)8311 FAX(711)1622
 国0120-70-8311



〒190 東京都台東区文京町1番20号
 (市民会館5F)

ご予約・お問い合わせは
 TEL 022-217-8311
 FAX 022-711-1622
 フリーダイヤル 0120-70-8311



東北大学学友会ヨット部60周年記念式典次第

【記念式典】 11:00～12:00

1. 開会の辞
2. 東北大学総長挨拶
3. 白翠会会長挨拶
4. 来賓祝辞
5. 学友会ヨット部主将挨拶
6. 感謝状贈呈
7. 閉会の辞

【記念撮影】 12:00～12:15

マリンゲート塩釜観光棧橋前階段

【クルーズパーティ】 12:30～15:30

1. 挨拶
2. 乾杯
3. 祝宴

船	第3芭蕉丸
乗船場	マリンゲート塩釜前観光棧橋
クルーズ予定	12:30 塩釜出港
	13:45 松島観光棧橋着
	14:30 松島出港
	15:30 塩釜着

東北大学学友会ヨット部創立60周年記念式典出席者名簿

【御招待】

●東北大学関係

総長	阿部博之
副総長	江原淑夫
学友会体育部長	大井龍司
事務局長	伊藤博之
学務部長	新屋秀幸
学務部学生課長	神原正至
学務部学生課長補佐	相澤芳美
学務部学生課専門職員	村田徹雄
学務部学生課専門職員	竹内忠司
学務部学生第一掛長	千葉治郎
学務部学生課事務官	藤原克彦

●ヨット協会関係

日本ヨット協会会長	秋田博正
東北ヨット協会会長	高橋順一
宮城県ヨット連盟会長	中野正志

●地元関係

吉田浜漁協組合長
 花淵浜漁協組合長
 鈴木時夫
 糟谷商店
 セイルヨット
 カネイチ
 小野寺ボート製作所
 円通院

●他大学関係

東北学院大学ヨット部OB会会長	勝山卓郎
北海道大学ヨット部OB会	熊谷昌夫
北海道大学ヨット部OB会	繁永幸久
北海道大学ヨット部OB会	山手 謙

【学友会ヨット部】

ヨット部長	谷 順二
ヨット部副部長	長南征二
監督	柳澤一郎

●現役部員

4年経	蜂巢哲正
4年理	島田照久
4年歯	山内健介
3年法	主将 海野茂樹
3年経	清水佳充
3年法	服部俊太郎
3年工	三田村彰大
3年工	後藤憲毅
2年薬	岩上景一
2年工	佐藤幸紀
2年薬	山崎大典
2年理	石川 慶
1年工	木村幸四郎
1年工	畠山真人
1年経	井上宗幸
1年工	土井晴樹
1年工	安間勇介

東北大学学友会ヨット部創立60周年記念式典出席者名簿

【白翠会】

●社会人会員

昭和18経	瀧藤四郎	昭和42工	藤田 彰
昭和20工	湯沢豊城	昭和42医	棚橋善克
昭和22工	会長 島田平八	昭和42経	増田信彦
昭和25工	渡辺 明	昭和42工	後藤正孝
昭和27工	加納寛文	昭和43工	笹木憲司
昭和28経	相良公一	昭和43経	大島正蔵
昭和28文	赤尾綱男	昭和44工	老田尚久
昭和28工	平野節夫	昭和45理	臼井康雄
昭和29経	三宅誠二	昭和45理	中村栄一
昭和29教	阿部てい子	昭和47工	清水 強
昭和29教	今野恭子	昭和47工	園部 優
昭和29法	礫石 達	昭和48工	遠藤敏昭
昭和30経	近藤太郎	昭和48工	赤羽源一郎
昭和31経	高橋三雄 (60周年実行委員会委員長)	昭和48農	松本真弓
昭和31法	小谷 昌 (60周年副委員長)	昭和49工	山本憲一
昭和31法	篠田四郎	昭和50工	佐藤春夫
昭和33教	多河敏子	昭和50工	奥村一男
昭和33農	武藤潤隆	昭和51工	望月 晃
昭和33文	松元幸三郎	昭和52工	開口宗昭
昭和34経	林 昭正	昭和53工	庄司一夫
昭和35工	大谷正彦	昭和53工	勅使河原栄幸
昭和35理	市橋芳徳	昭和53工	田中啓誉
昭和35工	小野寺邦夫	昭和53工	池上智仁
昭和36工	鈴木知二	昭和53工	下田準二
昭和36農	伊吹万里	昭和57経	小笠原義和
昭和37工	五木田一雄	昭和57農	堀木宏行
昭和37工	堀江忠寿	昭和58経	小林伸夫
昭和37工	横山 晃	昭和58農	石崎成樹
昭和38工	笹林敬吾	昭和58農	武山則方
昭和38工	谷垣 卓	昭和62齒	高橋 功
昭和38工	近藤紀夫	昭和62工	深津 敦
昭和38工	堀尾公亮	昭和63齒	監督 柳澤一郎
昭和38農	安田義和	平成1工	大滝克美
昭和38工	梶川淳三	平成1工	山路浩之
昭和38経	並木剛彦	平成2経	柴田真一
昭和39工	野口 宰	平成4法	日松一雄
昭和39工	香野俊一 (60周年副委員長)	平成6経	野田貴裕
昭和39文	板橋征二	平成6業	岡崎真一郎
昭和40業	脇坂菊雄	●学生会員	
昭和40法	平塚儒完	平成8工	堀田善文
昭和40理	土居昭昌 (60周年副委員長)	平成9工	鈴木盛生
昭和40工	小田裕英	平成9理	末永俊一郎
昭和41工	田村 実	平成9工	本間尚文
昭和41法	矢島和夫	平成9工	穴戸慶介
		平成10理	荒井 訓

以上

平成10年 月 日

様

東北大学ヨット部OB会創立60周年学術記念事業会
(白翠会)

会 長 福島ハイテク研究所 島田 平 八
東北大学ヨット部OB会長
実行委員長 株式会社社長 小 谷 昌
東北大学ヨット部OB会副会長

東北大学ヨット部OB会創立60周年学術記念事業への寄付のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、東北大学ヨット部OB会(白翠会)は、今年度お陰様をもちまして創立60周年を迎えております。これお記念して白翠会は種々の記念事業を計画し、その準備を進めております。

本記念事業は「海洋スポーツと環境の研究」をテーマに、海を利用するものとして海洋における環境、開発、利用、汚染等に注視し、報告と討議を行うための場にしたいと思っております。

この記念事業が、東北大学ヨット部の未来にはばたく礎となり、海洋スポーツに対する社会への啓蒙活動になればと考えております。

現在、開催に向けての準備を鋭意進めておりますが、事業の全てを参加者および当方の負担で賄うことができません。従いまして、本事業を成功裡に開催するには、各界より多大のご協力を賜りますとともに、一部の費用に充当するため関係方面よりご寄付を募ることが不可欠であります。

つきましては、下記により貴社のご賛同を頂きまして、本事業開催のための諸行事を推進致したく、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

何卒よろしくご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

ご寄付依頼金額 金 _____ 千円

99—1—23

60周年記念学術基金と活動計画について

1) 実行委員会

- ・委員長：高橋三雄
- ・副委員長：小谷 昌、香野俊一、土居昭昌
- ・事務局：勅使河原栄幸

2) 記念事業（近未来に向けての現役強化）

2-1) 活動内容

海外含めたコーチの招聘、強化合宿（450万円）

99年インカレ対応等現役強化策

- ・艇・セール購入（300万円）
- ・救助艇、備品保管コンテナ購入（300万円）
- ・遠征費補助（100万円）

新艇種対応（300万円）

海の日学術講演会開催、レポート等（50万円）

2-2) 募金要領

記の目的達成のために、募金をつのる

目標額：1000万円から1500万円（3-5年の間の活動費として）

会員個人からは、一口10,000円で、3口以上何口でも可

企業からの、募金については、会員各自が積極的に働きかける

とくに、企業からの募金の便宜をはかるため、財団を利用する

- ・青葉財団を活用する。

事業案件「海洋スポーツと環境問題の研究」

非課税対策

募金趣意書の差出人（会長、実行委員長、部長、副部長）

- ・使途の最終振り分けは、別途小委員会（幹事、監督、コーチ）を設けて検討する

募集期間：平成10年10月から平成12年3月（応募状況により延長も考慮）

会計事務局（勅使河原栄幸、庄司一夫）

3) 10年ごとの節目には、記念式典、記念事業を執り行いたい、上記もその一環。

趣 意 書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

東北大学ヨット部は、今年で60周年を迎えます。この間、全日本学生ヨット選手権や国立七大学競技会（七帝戦）において、幾多の輝かしい成績をあげ、また幸いなことに無事故で過ごせましたのも、皆様のご指導・ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

この記念すべき60周年の良き年にあたり、私たちも社会に対して幾ばくかの貢献をすべきと考えるに至りました。そこで、「海洋スポーツと環境の研究」と題する課題で、研究・啓蒙活動を行うことと致しました。

本来、このような活動は、わがヨット部OB会の募金により賄われるのが建て前では有りますが、その額にはどうしても限度があり、一部は浄財に頼らざるを得ないのが実状であります。

つきましては、本研究・啓蒙活動の意義をおくみとりくださいまして、格別のご配慮を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

なお、免税処置を希望される場合には、別紙「奨学寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

頓首

平成10年10月吉日

東北大学ヨット部部长

東北大学流体科学研究所所長

谷 順二

白翠会（東北大学ヨット部OB会）会長

福島県ハイテクプラザ所長

島田 平八

白翠会（東北大学ヨット部OB会）副会長

京浜急行株式会社社長

小谷 昌

ヨット部創立60周年記念基金会計報告

— 平成12年1月15日現在 —

【収入】 8,465,234 円 (42人)

10年度 7,812,276 円

11年度 652,958 円

【支出】 1,835,298 円

- ・ 春季遠征補助 (同志社ウイーク, 江ノ島合宿) 400,000 円
- ・ 現役教化コーチ費, 遠征補助, ビデオ購入等 500,735 円
- ・ セール購入費 (470, スナイプ 各3セット) 847,770 円
- ・ 救助艇拡声器設置費 86,793 円

【青葉工業振興会管理費】 219,643 円

【残金】 6,410,293 円

以上

東北大学ヨット部創立60周年記念

舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩
舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩
舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩
舩 舩 舩  舩 舩 舩 舩

「舟文字グラス」の作成にあたって

東北大学ヨット部卒業生の大半は、ヨット部に入ってから舟とは何かを知ります。「帆走ってくれよ」と願いながらシーズンオフにそしてインカレ前のペンキ塗や各種部品の交換などの整備をしました。良く手入れされた舟は期待に応えてくれました。きらめく夏の太陽の下での快走、雨混じりの強風と白波の中そして微風と強い潮に悩まされたレース、北風吹くの中での整備合宿、救助船の底にたまったアカ汲み等々ヨット部の思い出は舟と共にあります。

生活の中に溶け込んでいる生き物や道具にはそれぞれの成長過程や色や姿形の違いに意味を求め、様々な名前や呼び方があります。例えば出世魚はその代表的な存在でしょう。また、馬、犬、羊、ラクダ等々、世界中に多くの例があるそうです。そのような状態を「文化が存在する」と言うのだそうです。

窓

であるとするば、東北大学ヨット部の文化を舟偏の組み合わせ文字で表現することが出来るかもしれません。ヨット部での思い出のシーンを舟という文字で表わせば、いったい幾つの文字が出来るのでしょうか。辞書には無いヨットと結びついた文字です。同じ文字であっても、時代により個人によっても結び付く思い出が違うため読み方が違うかもしれません。それも歴史であり文化でしょう。

今回はグラスという大きさと形状に制約はあるが出来るだけ多くの文字を入れたいとの我々の要望にそいながら、グラフィックデザイナーによる文字のデザインと制作工房の協力によって厳選された30文字を刻印することが出来ました。

皆様お一人おひとりのヨット部の思い出と結び付く文字が見つければ幸いです。

平成10年10月吉日

東北大学ヨット部創立60周年記念 舟文字グラス制作委員会

舟

風

舩

(ヨット) : 科学技術を結集した艇を準備し、海面／気象等のデータを収集してレースに望みますが、人知の及ばない事態が発生し予想もしないレース展開となってしまうことは、全てのヨットマンが経験しているのではないのでしょうか。人事を尽くして天命を待つ虚ろい易い自然に翻弄されながらも、また黙々と海に向かうレーサーの姿はどこか宗教人を思い起こさせます。西澤元総長は、ヨット部50周年史に「ヨットには孤高の美しさを感じる。」と寄せられました。

舩

(A級ディンギー) : 戦前から多くのセーラーを育てた木製クリンカー張り1枚帆のA級ディンギー。その大きな台形の帆を震わせながら追風を進む姿は、我々を白い蝶がひらひらと海面を渡ってゆく幻想の世界に誘います。

舩

(スナイプ級、シギ) : スナイプ乗 (sniper、狙撃手) はゲームを楽しむように獲物を狙い続けます。

舩

(470級) : 470級はフランス人によって設計された2人乗りの全長4.70mのプレーニングタイプのヨットであり、オリンピック種目にも選ばれ多くの学生セーラーを育てました。忠臣蔵四十七士との語呂合わせ。

舩

(スキッパー) : 舵とメインセールをコントロールするスキッパーは、迅速で正確な判断を求められるため経験が大切です。当然、上級生がその任に当たることが多くなりますが、舟の上では神の如く振る舞っています。どんな神さまかって? それはもう八百万の神々の国ですし千差万別であります。これ以上話すと罰が当たりますので、ご勘弁ご勘弁。

舩

(クルー) : 舟神 (スキッパー) の指示に黙々と従いひたすら耐え艇のバランスをとるクルー。しかし、レベルの高いレースほどクルーの力が重要で、ただの錘では勝てません。

舩

(マスト) : 見上げる大黒柱のように立つマスト。強風下での沈の後、真っ二つに折れたマストを見たときの脱力感と絶望感は言葉では言い表せません。

舩

(フィッティング) : マスト、メインセール、ジブセール、メインシート、ジブシート、バウライン、アンカーシート、スピンシート、ブームバンク、風見、カラミ、等々。ヨットはセールの白を基調に、様々な彩りを添えた道具に飾られ岸壁を離れます。

舩

(テルテール) : セールの両サイドに張り付けられ、セール上の風の流れを教えてくれる細い糸がテルテール。セールの上の白にたいする赤が似合います。ふわふわと気紛れに揺れる赤い糸とのにらみっこが続きます。気を抜くとどこに行くかわかりません。あっ！またふれた。

舩

(フリー) : 追風を受けての帆走(フリーと呼ばれます)では全てのセールを観音開きにし、風を帆一杯に受けて走ります。

舩

(ウィスカーポール) : スナイプ級では追風での帆走(フリー)の時に、メインセールとともにジブセールを横に大きく展開します。その時に使う長いポール(ウィスカーポール)の先には長いピンが槍のようになっています。その昔、バウデッキに突き刺した強者がいたそうです。

舩

(スピンプール) : 470級等の追風での帆走(フリー)の時に使うスピナーを展開する道具がスピンプール。その形は孫悟空の如意棒に似ています。どのような風や波でも自由自在に扱えるかどうか勝負です。

舩

(順風) : スキッパーとクルーがサイドデッキに身を乗り出し、心地よい風を頬にうけながらヨットの最適なバランスが取れる風。「今日はどこまで走ろうか！」自然にそんな会話が弾みます。

舩

(フルバランス) : 風が強まるに従って白波の数も増え、うねりも大きくなってきました。スキッパーもクルーもサイドデッキから大きく身を乗り出し、波のプレーを浴びながらフットベルトやトラピースワイヤーに身をあずけます。上マークまであと何分！さあ体力との勝負です。またブローが来るぞ！

舩

(サーフィング) : 風が強くなり波が出てくると、波乗が出来たのと出来なかったのでは舟のスピードに大きな差が出ます。ヨットのバランスを保ちながら、波と風にタイミングを合わせてセールの出し入れを急速に行います。

舩

(帆走指示書) : ヨットレースは「ISAF (International Sailing Federation)」が制定しオリンピックの開催される年に4年毎に更新される「国際セーリング競技規則」に則り、各大会毎に定められる「帆走指示書」に基づき運営が行われます。

舠

(初心者) : どちらから風が吹いているの? スタートすると何んでみんな別の方向に走り出すんだろ、マークはあっちだろう? そもそも何んでヨットは風上に進むんだ? 舟のシート(ロープ)はなんで俺の手足に絡み付くんだ、もっと短くしろよな! なぜヨットは止まって欲しい時に勝手に走り出し、走りたい時に止まるだ、まったく! 海とヨットには不思議なことが一杯です。

舡

(スターボードタック) : 右舷から風を受けて帆走しているヨット(スターボードタック)を、左舷から風を受けている舟(ポートタック)は避ける必要があります。

舢

(ポートスターボ、ミート) : 左右に離れていた舟が方向を変えてまた近づいてきます。しかし、所詮ポートタックはスターボードタックの舟を避けなければなりません。どのような会話が交されたのでしょうか? せっかく近づいたのにまたしばしの別れ。

舣

(追突) : 後ろの舟は、先行する舟の後姿がいかに魅力的であっても激情に任せて追突しては行けません。

舥

(ブランケット) : 自艇のセールによって出来る風下の風のない影(ブランケット)を利用して敵の風を奪うことが基本的な攻撃パターンの一つです。これによって相手の艇速を落すことが可能です。「うっ、息が出来ない」というところでしょうか。なんと陰険な、いや科学的なスポーツなんだろ。

舦

(SLP、セーラーワードポジション) : 自艇のセールによって発生した乱れた風が敵の風を乱すために、相手艇のスピードが自艇よりも遅くなってしまふ必勝のポジション。風上の敵がスピードダウンしてみるみる風下に落ちて行きます。風のマジック。海の上の実践的な流体実験です。

舧

(ファーストフィニッシュ) : ファーストフィニッシュを知らせるファーストホーンを聞いた時の達成感と解放感は格別です。えっ鼻の差で俺じゃない? あいつがトップ? うっそ〜、抗議だ!

舨

(ラストフィニッシュ) : レース参加艇の最終フィニッシュ。脱力感と無力感そして混乱する頭。絶対に思い出したく無い瞬間なのに、何故か夢に出てくる一生の友達?

舩

(完沈、カンチン) : 強風と大きなうねりの中、バランスとセールコントロールに失敗すると、オーバーヒール、アンヒール、ワイルドジャイブなど、様々な原因によって、ヨットは海に倒れてしまいます(沈、チン)。その後の対処が悪いとマストは完全に海中に没し船底は伏せたお碗のように海上に浮上してしまい、完全にひっくり返った状態(カンチン)になってしまいます。悪い時には悪いことが重なるのが世の常で、スピナーカーが流れ海の中で開いてしまったり、センターボードが海の中に落ちこちようものならレースどころではありません。

颯

(帆走、はしる) : 微風、順風、強風。あらゆる自然条件そして風の微妙な強弱を肌で感じながらヨットが最高のスピードで帆走するように、マスト、セール、シートを操り、艇のバランスをコントロールします。自然と一体となった集中力を獲得した時、ヨットは風と一体となる!

鯉

(ハーバー) : 一日の練習が終りハーバーに帰ります。今日も無事に帰ってきたな。ほっとした中で強い夕日に照らされた心地よい顔の火照り。明日も良い風が吹きますように・・・。

飛

(プレーニング) : 一層風が強くなり波やうねりも大きくなってきました。スキッパーもクルーもフルバランス。強いブローが来た瞬間、舟の前部分(バウ)を浮かせ、風の力を最大限に引き出すように舟のバランスとセールを完全にコントロールするとヨットは海の上を滑走します。帆船がモーターボートに変身する瞬間。束の間の爆発的疾走。一度経験するとやみつきになる感覚です。

勇

(試乗、ためしのみ) : 出艇前、起床した時より相当風が強くなっています。はたして今日は練習が出来るのか。さあ、試乗は誰が行く? 上級生の腕の見せ所です。「よし行くぞ」と勇ましくクルーに声を掛けて颯爽とハーバーを出たとたん、突風にあおられてオーバーヒール沈。最悪。

戦

(レース) : ヨットマンシップに則り、正々堂々と走り勝負、勝負! ラダリングなんてもってのほかだ。チームレースなんか野暮な奴のやることだ! 俺は下いちでスタートするんだ! あの野郎なんでこんな大事なところで下タック(舟喝)なんかすんだ。ばかやろう! マークに入んなくなったじゃねえかよ～。タック、タック! 静かな海とは打って変わり舟の中は戦争です。



東北大学ヨット部創立60周年記念 舟文字グラス制作委員会

グラフィックデザイン：森 川 彬（株式会社ヴォイス）
グラス制作工房：三 浦 剛（みうら家具株式会社）

舫

（初心者）：どっちから風が吹いているの？ スタートすると何んでみんな別の方向に走り出すんだろう、マークはあっちだろう？ そもそも何んでヨットは風上に進むんだ？ 舟のシート（ロープ）はなんで俺の手足に絡み付くんだ、もっと短くしろよな！なぜヨットは止まって欲しい時に勝手に走り出し、走りたい時に止まるだ、まったく！ 海とヨットには不思議なことが一杯です。

舳

（スターボードタック）：右舷から風を受けて帆走しているヨット（スターボードタック）を、左舷から風を受けている舟（ポートタック）は避ける必要があります。

舳

（ポートスターボ、ミート）：左右に離れていた舟が方向を変えてまた近づいてきます。しかし、所詮ポートタックはスターボードタックの舟を避けなければなりません。どのような会話が交されたのでしょうか？せっかく近づいたのにまたしばしの別れ。

舳

（追突）：後ろの舟は、先行する舟の後姿がいかに魅力的であっても激情に任せて追突しては行けません。